

日本整形外科学会教育研修単位

次頁以降の講演は、日本整形外科学会教育研修単位が認められております。(各1単位)

※本学会での取得可能単位数の上限は、1日5単位、会期中合計9単位です。

※ライブ、オンデマンドなどWEBを使つての配信はございませんので、現地受講のみとなります。

※単位申込は、現地会場の参加受付で現金にてお申し込みいただけます。オンラインによる申込は行いません。

【申込方法】

1. 「日本整形外科学会教育研修講演受講申込書」に必要事項をご記入の上、受講料(1セッション:1,000円)を添えてお申し込みください。
※日整会会員QRコードをお忘れの方は、教育研修講演受付にてお申し出ください。
2. 講演開始10分前から開始後10分までに、会員QRコードを講演会場入口のQRコードリーダーにかざして出席登録を行ってください。10分を過ぎた場合や手続きが完了していない場合、途中退場された場合は、単位取得はできません。
3. 学会終了から10日程度で、日整会ホームページの取得単位確認画面の単位振替システムでご自身の取得状況を確認できます。
4. 研修手帳をお持ちの方も、会員QRコードで出席確認を行うため、日整会ホームページの会員専用ページの単位取得履歴に記録が残ります。このため、受講証明印を受ける必要はありません。該当する必須分野のページに必要事項を記入し、受講証明印の欄に「会員カード」または「HP参照」と記入してください。更新時には、ホームページ上の取得履歴と照合いたします。

【ご注意】

1. 会場には講演開始後10分までに入場してください。10分後に入場されても受講単位は認められません。また途中退場される場合も受講単位は認められません。
2. 受講料は講演中止などの理由以外では払い戻しいたしません。また受講取り消し・変更の手続きや領収書の再発行はいたしません。
3. 教育研修講演のみを受講される方も学会参加受付が必要です。
4. 2015年(平成27年)1月1日より、日本整形外科学会教育研修講演における単位取得が完全デジタル化されております。教育研修講演の単位取得にあたっては、会員QRコードが必要になりますので、必ずご持参ください。
5. 受講料のお支払いは現金決済のみとなります。クレジット機能はご使用いただけませんので、ご了承ください。
6. 単位の必須分野番号を受講当日に選択することはできません。後日、日本整形外科学会会員専用ページ内の「単位振替システム」を利用して、ご自身でご希望の必須分野番号への振り替えをお願いいたします。

日本整形外科学会教育研修単位一覧

日時		会場	セッション名	演者名	演題名	日本整形外科学会		
						必須分野	専門医単位	認定番号 25-0993
10月10日 (金)	11:20～ 12:20	第1会場	ランチョン セミナー1	稲毛 一秀	骨粗鬆症性椎体骨折 への多面的アプローチ ーガイドラインと 最新トピックスから 考える治療戦略ー	4, 7	SS	001
		第2会場	ランチョン セミナー2	今釜 史郎	腰痛を含めた運動器 疼痛の臨床エビデンス	7	SS	002
		第3・4会場	ランチョン セミナー3	大場 哲郎	脊椎術後合併症から 学ぶこと	7	SS	003
		第5会場	ランチョン セミナー4	豊田 宏光	腰痛診療に必要な ヘルスコミュニケー ションを考える	7	SS	004
	13:10～ 14:10	第1会場	海外招請講演 1	Shanmuganathan Rajasekaran	Is low back pain due to subclinical infection? : The influence of Bacteria on Disc Health	7	SS	005
	14:50～ 15:50	第2会場	海外招請講演 2	Gaurav Raj Dhakal	Low back pain in Nepal: Predisposing factors and management challenges	7	SS	006
	16:25～ 17:25	第1会場	教育研修講演 1	山縣 正庸	私の腰痛診療 ー振り返りとそこか ら見えてくるものー	7	SS	007
				西田 康太郎	腰椎難症例に対峙する ー手術症例を中心にー			
	18:10～ 19:10	第2会場	アフタヌーン セミナー1	宮本 敬	LLIFの落とし穴には まらないために ー自認「不器用派」の 術者が語る LLIFー	7	SS	008
		第5会場	アフタヌーン セミナー2	平井 高志	粗鬆骨を有する脊椎 疾患に立ち向かう ーCement augmented pedicle screwの使用経験から わかったことー	4, 7	SS	009
				檜山 明彦	骨粗鬆症性椎体骨折に 対するセメント補強 スクリュー (CAPS) を 用いた脊椎固定術の 実際と治療戦略			

日時		会場	セッション名	演者名	演題名	日本整形外科学会		
						必須分野	専門医単位	認定番号
10月11日 (土)	8:00～9:00	第2会場	モーニングセミナー1	二階堂 琢也	腰痛診療におけるアセトアミノフェンの位置づけと適正使用指針—高齢者・併存疾患例に対する最適な疼痛管理とは—	7	SS	010
		第5会場	モーニングセミナー2	西能 健	脊椎骨粗鬆症全盛時代—課題を武器にして超高齢社会を乗り越える—	4, 7	SS	011
	12:00～13:00	第1会場	ランチョンセミナー5	鉄永 倫子	腰痛診療における聴くスキル・伝えるスキル—患者さんの治療満足度を上げるために—	7	SS	012
		第2会場	ランチョンセミナー6	矢吹 省司	慢性腰痛に対する多面的評価の重要性と集学的治療の実践	7, 13	Re	013
		第3・4会場	ランチョンセミナー7	西良 浩一	アスリートの腰痛—最小侵襲手術で運動療法につなぐ—	7, 13	Re	014
				藤谷 順三	腰痛に対するピラティス運動療法			
		第5会場	ランチョンセミナー8	小島 敦	患者さんにどう説明する？—腰椎椎間板ヘルニア治療におけるコンドリアーゼの過去・現在・未来—	7	SS	015
	13:10～14:10	第1会場	教育研修講演2	大川 淳	「腰痛治療のカクシン」を振り返って	7	SS	017
				大鳥 精司	腰痛診療は過去にどのように身に付けられ、現在どのように行われて、将来の腰痛診療はどうあるべきか			
	14:25～15:25	第5会場	スポンサードセミナー	林 寛之	骨粗鬆症性椎体骨折にどう向き合うか—治療の選択と課題—	4, 7	SS	016
		第1会場	教育研修講演3	白土 修	腰痛診療ガイドラインの変遷と実践—演者自身の診療アプローチに合理性はあったか？—	7	SS	018
				二階堂 琢也	腰痛診療ガイドラインの歩みと展望—国内外の変遷からみる標準化と個別化の課題—			

【専門医取得単位について】 R：リウマチ単位 Re：リハビリテーション単位 S：スポーツ単位 SS：脊椎脊髄病単位

【必須14分野】

- | | |
|--|--|
| <p>[1] 整形外科基礎科学</p> <p>[2] 外傷性疾患（スポーツ障害を含む）</p> <p>[3] 小児整形外科疾患（先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く）</p> <p>[4] 代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）</p> <p>[5] 骨・軟部腫瘍</p> <p>[6] リウマチ性疾患、感染症</p> <p>[7] 脊椎・脊髄疾患</p> <p>[8] 神経・筋疾患（末梢神経麻痺を含む）</p> <p>[9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患</p> | <p>[10] 手関節・手疾患（外傷を含む）</p> <p>[11] 骨盤・股関節疾患</p> <p>[12] 膝・足関節・足疾患</p> <p>[13] リハビリテーション（理学療法、義肢装具を含む）</p> <p>[14-1] 医療安全</p> <p>[14-2] 感染対策</p> <p>[14-3] 医療倫理</p> <p>[14-4] その他の共通講習</p> <p>[14-5] 医学全般にわたる講演会などで、14-1～14-4に当てはまらないもの</p> |
|--|--|